

～元気の出るエピソード～

外来に通院されている患者様は、ホームヘルパーや訪問看護、デイサービスやデイケアなどの介護サービスを利用されている方が多く、毎日楽しく、忙しくお過ごしになられている方が少なくありません。患者様が「学校(デイサービス)に楽しく行ってます」「行けば仲間が沢山いるからね」と笑って話されているのを見ると、楽しく過ごされているのだなと安心し、こちらも元気をもらいます。

また、施設に入所されている方は、昨今猛威を振るう新型コロナウイルス感染予防のために面会ができない状態が続いている方も多く、外来通院のための外出で久しぶりに会えたということもしばしばです。そのような患者様やご家族様が、外来待合室と一緒に笑顔で嬉しそうに過ごされているのを見ると、暖かい気持ちになります。患者様やご家族様の笑顔は私たちスタッフの元気の源です。

マスクの着用が必須となり顔が半分隠れてしまう状況ですが、笑顔で話しかけると笑顔を返してくださる方が多く、その笑顔に元気をもらい、癒されております。外来が笑顔の場となるようスタッフ一同努めてまいりたいと思います。

外来 小藤 静香

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西 (隔週)	休診
	根岸		一本(9/2, 9/16のみ)			
一般 内科	白濱					
午後(新患のみ)		鈴木			安西	休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	
8:45~11:30	13:00~15:00	9:00~12:00	14:00~17:00	現在 面会制限中※

※面会については患者様のご状態等に応じてご対応いたします。
また、スカイプを利用してお電話での面会もご対応しております。

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

診もり短歌



アルツハイマー影のようなもの
老いゆけばアルツハイマー見えてくる
からだ元気になるも物忘れ増える
Drねぎし

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります
・紹介状
・お薬手帳をご持参ください。
予約時間の変更等につきましては、
13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日
10:00~12:00
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

はすカフェは現在中止しております。

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 **蓮田よつば病院**

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 9月号

発行日 令和2年9月1日

秋晴の候、皆様におかれましては、お忙しい中でも爽やかな季節を満喫なさっているのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの流行により、厚生労働省より身体的距離の確保や、マスクの着用を中心とした「新しい生活様式」が推奨されております。電車でも新型コロナウイルス感染者と隣接することで1時間あたり1%程度感染する報告や、マスクを着用することで感染を80%低下させる報告もされ、現在我々がやっている感染対策が正しいことが世界で証明されている状況です。

日本だけでなく世界中の多くの製薬企業が有効であるワクチンや100種以上にも及ぶ治療薬を開発しており、我々はその開発が終わるまで、今行っている「新しい生活様式」を続ける必要があります。

今までペストや新型インフルエンザ、SARS等多くの感染症が人々を苦しめましたが、いずれの感染症もいつかは終息します。新型コロナウイルスが終息するまで「新しい生活様式」を続け、新型コロナウイルスに打ち勝つよう皆様一緒に頑張っていきたいと思います。

当院では引き続き感染対策として各種イベントを中止しております。毎年9月に患者さんに季節を感じていただけるイベントとして、よつば祭りを開催していましたが、そちらも中止とさせていただきます。ご理解と感染対策へのご協力をお願い申し上げます。

薬剤科 阿部圭吾

～よつばご飯～



※写真は職員食になります

献立
主食:冷やし中華
副菜:ニラ饅頭
副菜:カニ風味サラダ
デザート:マンゴープリン

栄養価
エネルギー:617kcal
たんぱく質:25.5g
脂質:18.1g 塩分:5.6g
※行事食につき、栄養価は若干高めになります

夏になると、さっぱりとした冷たい麺が食べたくなりますよね。冷たい麺を食べる事で、より一層「夏だな」と感じるのではないのでしょうか。季節を感じるということは認知症の患者様にとっては良い刺激となります。当院でも患者様に季節を感じて頂くために、夏場には冷たい麺の提供を行っております。冷やし中華・そうめん・冷やしうどん・冷製パスタ等。特に冷やし中華は患者様にも大人気です。

管理栄養士 水野俊



看護部の取り組み

看護研究発表

認知症患者の嚥下障害の改善に向けて～

KT(口から食べる)バランスチャートを用いた支援～

看護師：◎古本明美 西川五月 齋藤祥子 吉田友美
介護士：○松本恵美子 小高知世 饗庭鮎美

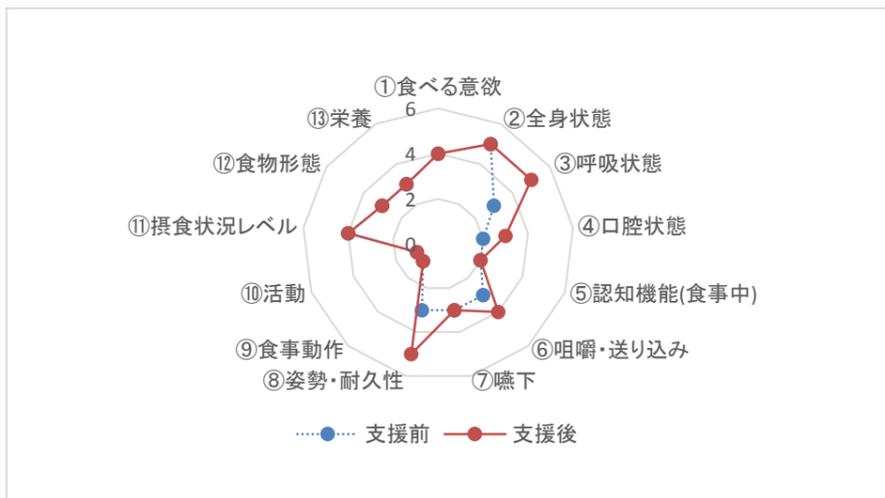
「口から食べる幸せを支えたい」と家族をはじめ多くの医療・介護従事者が思っている。T氏は、全身状態は良好であるのに、食事中や食後にむせ込みが多い。研修で知ったKTバランスチャートを使用し支援した結果、むせが改善したので報告する。

<患者情報> T氏 79歳 女性 アルツハイマー型認知症(発症後10年経過)

<研究期間> 令和元年11月1日～12月31日(2か月間)

※KTバランスチャートとは：①～⑬の項目を客観的に5段階で評価し「包括的で多面的な食支援」を実現する為のツール。高スコア項目は維持や強化すべき、低スコア項目は予防やケアの充実を図るべき側面である。

<評価結果> 支援前(青)⇒ 支援後(赤)：主に介入可能な⑥⑦⑧の項目を強化充実するよう支援した。



<実践経過>

⑥咀嚼、送り込み：食事中声出しがあり、開口したまま嚥下、咽頭部へ食物が送り込まれた。しかしタイミングが合わず、むせ込んでしまっていた。試行錯誤した結果、声出しがないタイミングで舌先部に食塊を乗せる(ブリックゼリーは舌中央に)。口腔運動を促すため食前の耳下腺マッサージを行った。結果、咽頭部への送り込みがスムーズになり、むせが減少した。

⑦嚥下：嚥下した後も咽頭残留物があり、そのまま声出しが始まりむせ込みの原因となっていた。トロミの調節を行い、ボタツと落ちる程度の硬さにした。空スプーンを口に入れ空嚥下を促した。残留物は減ったが、評価点の変化はなかった。

⑧姿勢、耐久性：リクライニング車椅子乗車中で、車椅子と身体の間が多かった。クッションなどを利用し骨盤の安定を図った。膝・足関節を90度に保つことは難しかった。

<考察>

T氏は、強くむせることができ、肺炎を予防できている。小山氏は、「摂食嚥下障害を有する認知症患者は症状の程度や、個別性の影響が大きい。(中略)内科疾患、老衰などを複合的に合併して食べることが困難になっている場合も少なくない一方で、保たれている良好な一面もある。」と述べている。少しでも長く口から食べるためには、KTバランスチャートを用いて強みを強化、弱みを援助していくという意識を持つことができた。

食思不振を主訴として入院される患者は多い。入院早期からチャートを利用し、客観的な評価に基づいて、個別の対応策を立案し援助していきたい。

引用文献：小山珠美；口から食べる幸せをサポートする包括的スキル 医学書院 2019

作業療法士からのお知らせ

リハビリ科の新しい仲間

はじめまして。今年の4月から入職いたしました。以前は群馬県で大学生をしており、臨床実習で蓮田よつば病院に来ておりました。先輩方が患者様それぞれに合ったリハビリや関わり方を考え、真摯に取り組まれている様子を見て入職したいと思いました。社会人一年目で分からないことも多いですが、患者様に寄り添った関わりが出来るように精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

リハビリ科 デイケアわかば担当OT 細井健吾



はじめまして。今年の4月に入職させて頂きました。これまで、一般病棟や療養病棟で勤務してきました。その中で「認知症だから」という理由で様々な制限をせざるを得ない経験を度々してきました。患者様がその人らしく過ごせるように関わり方を学びながら一人一人に寄り添っていかれたらと思います。これからよろしくお願いいたします。

リハビリ科 2階病棟担当OT 川野優夏



リハビリ科主任より新入職員にむけて一言

蓮田よつば病院のリハビリ科では、新たに作業療法士2名が入職し、合計9名のリハビリスタッフとなりました。慣れない環境での業務と万全の新型コロナウイルス対策で日々業務に取り組んでいる事もあり、入職間もない頃の新入職員のお二人は、臨床の場で緊張の面持ちでした。先輩たちの温かい声かけで、緊張もほぐれ素敵な笑顔を見せてくれるようになりました。

臨床の場では大変なことも沢山あるかもしれませんが、笑顔を忘れず、患者様と地域の方たちから信頼される作業療法士を目指し一緒に頑張りましょう！

3階担当OT 石川英樹

～よつば訪問看護リハビリステーション～

緊急事態宣言下の自粛生活が開けたと思ったのに、再び感染の流行がやってきてしまいました。COVID-19(新型コロナウイルス感染症)との生活はまだまだ続きそうです。

皆さま廃用症候群をご存知ですか？

体を動かさなくなる状態が続くことで身体機能の大幅の低下や精神状態に影響をもたらすことをいいます。

廃用症候群の主な症状は筋力の低下、関節が動かしづらくなる、自律神経の乱れ、うつ状態などがあります。また寝たきりで身体に負担がかからない状態が続くと、骨は少しずつ脆くなり進行すると骨粗鬆症を招くこともあります。症状が重い場合は安静にすることも大切ですが、過度な安静はかえって身体の状態を悪くしてしまう場合があります。

これらを予防するために、日頃から体を動かすよう意識することが大切です。医師や看護師、リハビリスタッフと相談し、少しでも身体を動かすよう心がけていきましょう！

理学療法士 森田直樹

～よつば病院作業療法風景～

喫茶活動



今月の予定

- 誕生会 2階・3階病棟 随時おこないます
- 理美容 2階・3階病棟 第1・3木曜日

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させていただきます。ご了承ください。